

す



す

諏訪明神

神変菩薩の

跡のこり

諏訪明神社

新田宿にある諏訪明神社は、伝承によると、慶長九年（一六〇四）に信州の諏訪大社から分霊を受けて祭つたのが起りといわれています。このほか蚕神社、天神社、秋葉社、稻荷社、鮭神社が祭られています。境内には、市の重要文化財に指定されている神変大菩薩碑があります。神変大菩薩とは、山岳宗教である修験道の開祖といわれている役小角に、死後千年たつた寛政十一年（一七九九）に朝廷から与えられた称号といわれています。市内に、このような資料が残っていることは、興味深いことです。

す